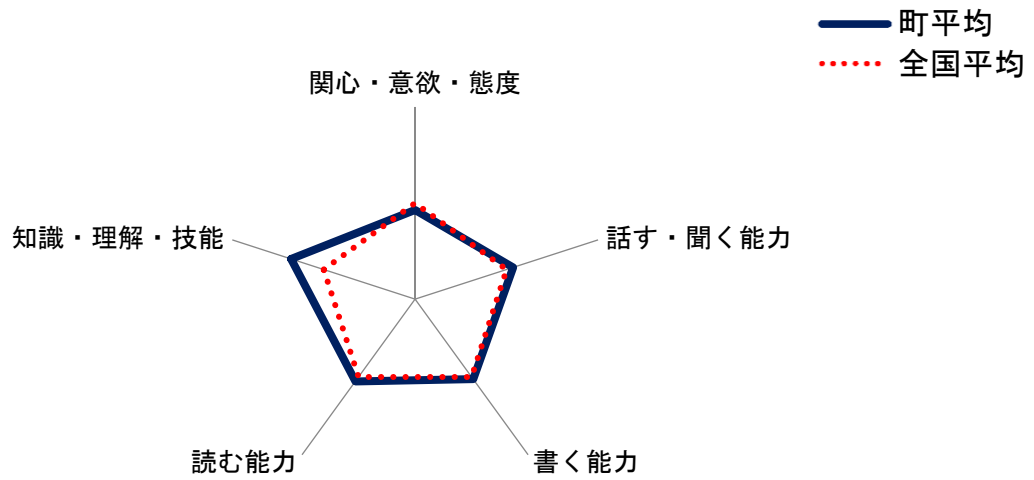
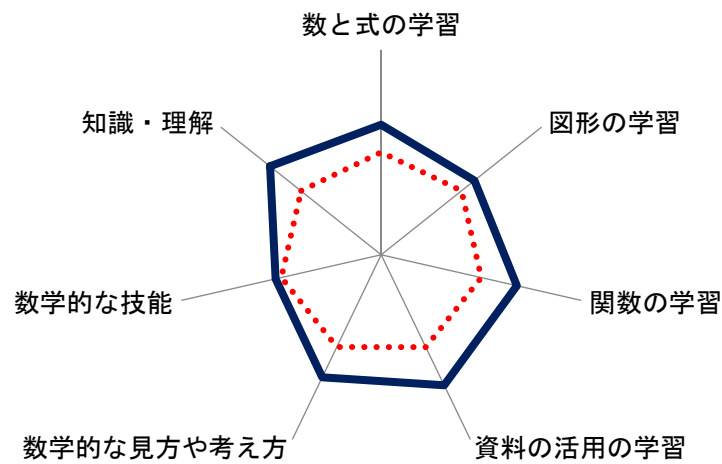


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

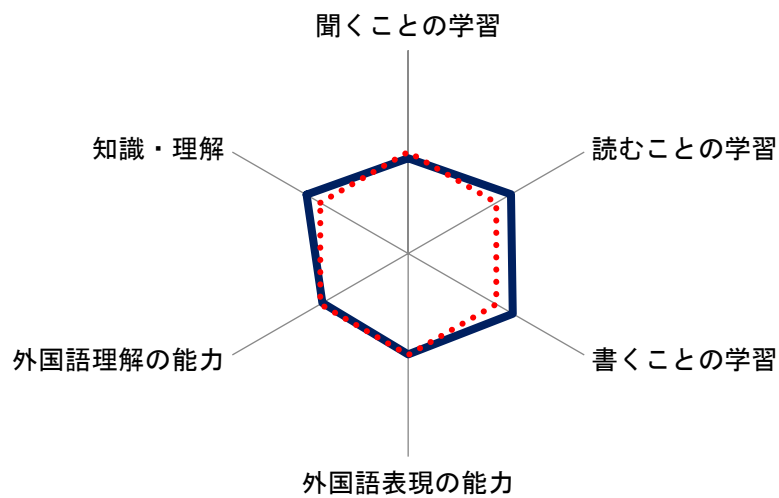
【国語】



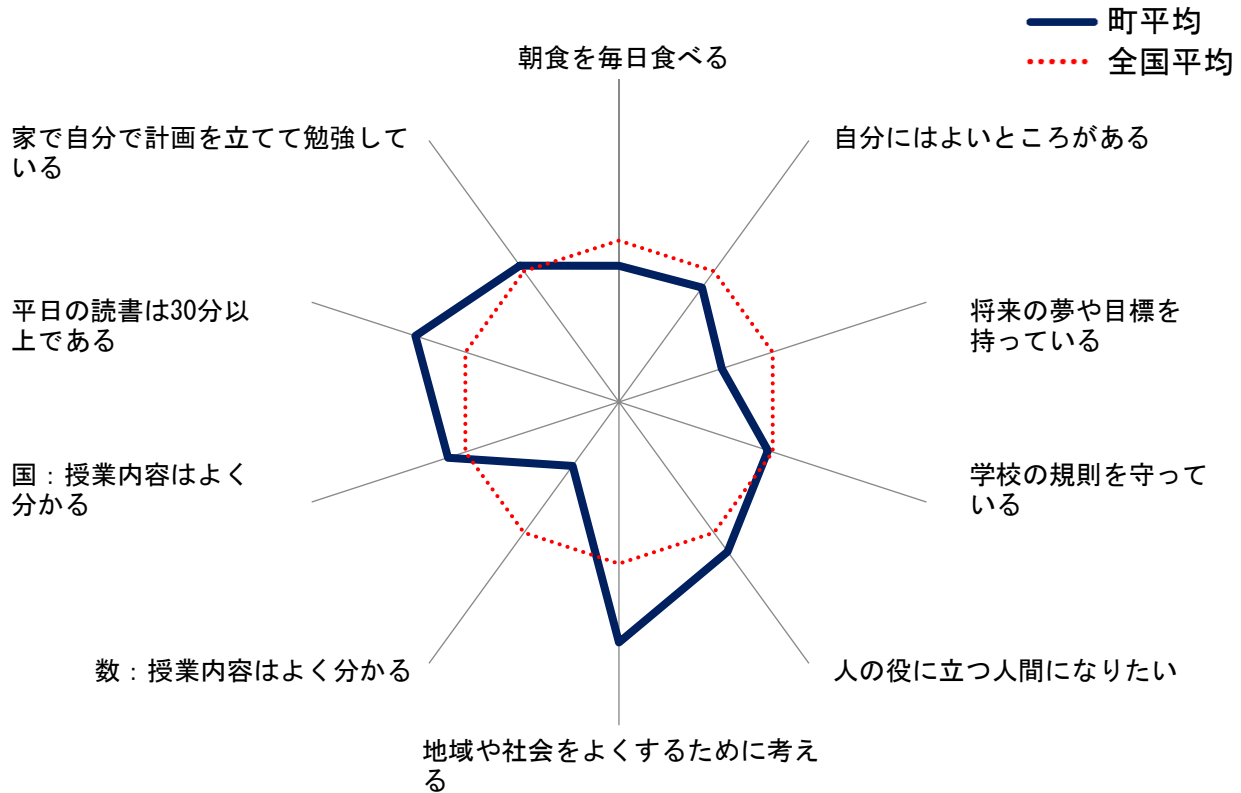
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学は全ての項目が全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。英語は、全ての項目が全国平均とほぼ同じかやや上回っている。特に国語は「知識・理解・技能」、数学は「資料の活用の学習」、「知識・理解」、「関数の学習」の各項目が全国平均を大きく上回っている。今後は、全国平均を下回っている項目を中心に詳細な結果分析に基づいた授業改善を図るなど、更なる学力の向上が望まれる。

生徒質問紙調査では、「地域や社会をよくするために考える」、「平日の読書は30分以上である」の各項目が全国平均を大きく上回っている。「将来の夢や目標を持っている」の項目は全国平均を大きく下回っており、キャリア教育の視点での取組のより一層の充実が望まれる。今後は、授業において各単元や本時の目標を明確にするとともに、単元や授業の終末における振り返りにおいて生徒自身が達成状況を確認するなど、自信をもって学習を継続できるように評価を工夫するなどの取組が望まれる。